

回覧

元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

村田、池田町長が競演

ゲンコミ講座 「人口減少」を共通テーマに

昨春から始まった生涯学習講座に、村田邦子・二宮町長、池田東一郎・大磯町長が連続登壇する。西湘南で独自の地歩を固める両町とも、町の基盤を揺るがしかねない人口減少に直面。これに対する首長としての施策説明の場を提案したところ、快く受け入れていただいた。村田町長は10月半ば、池田町長は11月に登壇してそれぞれの政策を披露し、参加者と議論する。会場はいずれも二宮町町民センター2Aクラブ室。



両町は生活文化面での結びつきが深く、人的交流も盛んだ。ただ、少子高齢化、産業・経済の沈滞が続く中で「人口減少」が大きな課題になっている。二宮町はH12年の3万人強をピークに今は2.7万人台に減り、今後も減り続ける見通し。大磯町は二宮町ほどではないものの、H22年の3.3万人以後、漸減が続いている(国勢調査)。人口減は町財政だけでなく、経済、教育、福祉、コミュニティ活動など町・地域パワー全体に影響が及ぶ。

こうした中で昨年末就任した池田町長は、各種の施策を組み合わせた人口減への取組みを最重点施策に掲げている。また村田町長もR5年度からの総合計画などで、人口動向を重点事項として取り上げている。ゲンコミでは両町長の“政策競演”を受け、この地域に詳しい識者に「二宮・大磯への期待と注文」(仮題)のような講座が出来ないかどうかを探っている。



「奇跡のヤマユリ」公開

7・22. 23. 29. 30

一色小学校友情の山のヤマユリの一般公開日が決まった。夏休み入り直後、7月後半の2回の土曜、日曜に設定した。7月5日(水)時点での生育具合は写真の通り。開花は今後の天候次第だが、

群生域が徐々に西方にも広がり、株数も少しずつ増えている感じ。公開に備えて9日(日)には支柱立てとつる草除去、16日(日)にはCS関係者、子供たちも加わった散策路整備を行う。県内の群生地が次々消えて行く中、住宅街という特殊な環境で生き延びた「奇跡のヤマユリ」。群生がどう変わっていくか、ぜひ確かめにいらしてください。カブトムシ小屋で孵化の様子もご覧になれます。